	·				
事業所名	児童発達支援事業所つくべた門司 ※事業所情報は概要に記載				作成日:令和7年1月27日
もし (事業所) 理念	私たちは、ひとりひとりの持つ色(特性や気質)に寄り添い、生活や遊びの中で成長を促す支援を提供していきます。 また、地域社会との連携を深め、共に成長し、共に生きる社会の実現を目指します。				
支援方針	つくべた門司では「小学校での生活力」を育てるため①基本的な生活習慣を身につける②自己表現する力を育てる③身体を育てる④学ぶ力を育てる⑤「出来た」「やってみたい」を育てる⑥社会のルールを身につける この6つの育ちをサポートします。 また、①職員全員で子どもの気持ちや思い、身体の状態を一生懸命に理解する②安心・安全な環境を提供する③面白い・やってみたいを大切にする④充実した職員が療育を実施することで、子どもたちの最高の笑顔を引き出していきます。				
営業時間	8時30分~15時30分 ※サービス提供時間	は9時~15時迄	送迎実施の有無	(あり) なし	、(門司区、その他は要相談)
支援プログラム					
		健康状態 <健康・生活> ・来所時、送迎時には保護者や園の先生から本E ・来所後に検温、視診で健康チェックを行います			

心身機能・構造

- <運動・感覚>
- ・活動内でスライムや粘土、スイングやボルダリング、水遊びや ボディーペインティング等、感覚運動遊びの実施をしています。
- ・遊びの中で、理学療法士、作業療法士が中心となって、 身体の使い方や遊びの提案などを多職種と連携を図りながら 実施しています。









個人因子



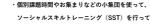


- <認知・行動>
- ・個別課題時間や活動の中で、はさみやのり、 鉛筆や食具の動作練習、使用方法の指導等を実施しています。
- ・個別課題時間に、小学校へ向けて、一人で課題に取り組む時間 も設定しています。集中して取り組めるよう、環境調整を実施 したり、一人で課題遂行ができるよう、構造化しておく等の支援 を実施しています。
- ・トイレ、更衣、食事動作など生活動作を習得できるよう支援を実施しています。
- <言語・コミュニケーション>
- ・個別課題時間に言語聴覚士が中心となり、 言語発達を促していけるよう支援しています。
- ・PECSの研修を受講したスタッフが中心となり、 対象となりえる子どもに対して支援を実施しています。
- ・遊びや生活の中で、手伝ってカードやくださいカードを使用し 言葉や絵カード、ジェスチャー等、子どもに合わせた コミュニケーション手段の獲得を促す支援をしています。



環境因子

- <家族支援>
- 保護者相談 (随時)
- ・保護者参観日の開催
- ・保護者交流会の開催
- ・毎月おたより配布
- ・モニタリング会議



<人間関係・社会性>

ソーシャルスキルトレーニング(SST)を行っています。 ・絵カードや劇を使ったロールプレイで、解決方法を職員と一緒にみつけていき

実際の場面でも行動できるように支援していきます。

参加





- <移行支援>
- ・園や就学先に利用児の特性やつくぺた門司での 支援方法等をまとめ、情報提供を行っています。
- <地域支援・連携>
- <職員の質の向上>
- ・地域交流会の開催
- ・職員研修(1回/1~2か月)
- ・地域の行事への参加
- 掲示板へのチラシの掲示
- 避難訓練の実施









